

平成23年度 人権・同和教育研修計画

1 研究主題

- 一人ひとりを大切にする集団づくり ～「気になる子」を中心に～
- 差別を許さない集団作りと全体での共通理解

2 主題設定の理由

本校の児童は、素直で明るく活動的である。しかし集団として見ていくと、子どもの世界にありがちな友達同士の傷つけあいや、無意識のうちに弱い立場の子を仲間はずしにしたりすることも見られる。また、自己中心的な態度をとり、周りへの配慮が足りない行動もみられる。

そこで、一人ひとりの人権を尊重し、個性を認め合い、一切の差別を許さない集団づくりに取り組む必要がある。人権・同和教育は国民的課題であり、社会生活そのものの中にある差別を見抜き、それを変革していく姿勢を、子どもたちも、また教師自身も育てていく必要がある。

3 カリキュラム編成に基づく実践計画

人権・同和教育の視点（生命・人権・平等・労働・連帯・真実・健康・平和）に基づき、全教科および学校教育活動の全領域において実施する。

4 研究の進め方

- (1) 「気になる子」を中心にすえた学級集団づくりの実践及び「気になる子」と、それを取り巻く集団の関係についての報告、交流会の実施。(年4回)
- (2) 同和教育の視点にたった授業の実践
 - ・道徳や各教科等の授業の中から、同和教育の視点にたった教材選びをし、カリキュラムを作る。
 - ・授業を通して、ものの見方・考え方を育て、差別を見抜き、それを変革していく姿勢を育てる。
 - ・提案授業を中心に、教師の人権・同和教育への共通理解と共に、意識の深化を図る。
- (3) 平和教育を通して、平和の大切さ、命の尊さについての学習を深める。
- (4) 人権週間を設け、「人権作文・人権ポスター・人権標語作り」に取り組み、人権尊重の意識を育てる。
- (5) P T A同和研修会を開催することにより、地域・保護者の同和教育への理解を得る。

5 年間計画

| 月 | 内 容 | | |
|----|-----------------------|---------------|---------|
| 4 | 「気になる子」の共通理解 | 4月 ～ 3月 | 授 業 実 践 |
| 8 | 「気になる子」の事例報告会 | | |
| 11 | 人権集会 | | |
| 12 | 人権週間（作文・ポスター・標語の取り組み） | | |
| 3 | 「気になる子」のその後の報告・まとめ | | |